

虎高

PTA

通信

2021年度秋冬号

No. 150

TORAHIME HIGH SCHOOL
Parent-Teacher Association



修学旅行 REPORT

長崎・熊本・福岡への3泊4日の修学旅行が、12月に実施されました。すばらしい青春の思い出の1ページになりました。



記念式典

100周年

虎姫高校

TORAHIME HIGH SCHOOL
100th Anniversary Ceremony



受け継がれる質実剛健・ 独立自尊・方円自在の精神

虎姫高校は、1920年に旧制県立虎姫中学校として創立され、1948年に新制の県立虎姫高校となり、昨年100周年を迎えました。これまでに約2万人の卒業生を輩出しています。

コロナ禍の影響で、1年遅れで開催された11月7日の記念式典には、在校生や同窓会員ら約700人が出席しました。

今回の式典の最大の特徴は、式典の告知動画の制作から、式典当日の内容の企画、進行、出演まですべてが生徒の手によるものであるということです。

挨拶の中で、梅本剛雄校長は、「伝統は諸先輩方の熱い想いや愛情のつながりをもって築かれてきた。諸先輩方のご尽力に感謝し本校の伝統を大切に引き継いでいこうと感じてほしい。それには、今の誠実さを貫くこと。貫く強さこそが質実剛健の精神を受け継ぐことになり、そのことが次の新たな100年の伝統をつくることになる」と、在校生らに呼びかけました。

このあと、生徒により、漫才による国際バカロレアの紹介や、アンチいじめ・差別プロジェクト「ピンクマスクデーinNagahama」の呼びかけ、吹奏楽部による校歌の演奏など、本校のよさや未来への展望、母校への思い、制作動画などが披露され、創立100周年を祝いました。

「質実剛健」

百周年記念式典生徒実行委員会
委員長 林久瑠海さん

この言葉は、本校の校風であり、祝辞をいただいた来賓の方々全員が、この言葉について語られました。私は、百年の間、本当に大切にされてきた言葉だと感じました。式典では、企画から進行までを生徒が担う形となり、直前まで忙しく、不安と緊張でいっぱいでしたが、一通り終えることができてほっとしています。前日まで、先生との打ち合わせを重ね、会議を行い、皆に「虎高生でよかった」と思ってもらえるように考え続けました。

当日は、実行委員会の皆の素晴らしい働きと全校生徒の協力で式典を盛り上げられました。この式典を通して、皆をまとめ、会議を滞りなく進行させる大変さや、皆で創り上げる楽しさを実感しました。虎姫高校の歴史の中で百周年という節目に関わることができた巡り合わせに、感謝の気持ちでいっぱいです。虎高生であるという誇りを持ち、百年間の先輩方の念を受け継ぎ、これからの高校生活に活かしていきたいです。



式典当日の運営を行う生徒たち

大正

- 9年(1920年) 旧制県立虎姫中学校設置
開校式 6月26日 以後この日を創立記念日とする
- 14年(1925年) 校歌誕生 作詞:巖谷小波 作曲:永井幸次
同窓会発会式

昭和

- 4年(1929年) 寄宿舎を彦根中学校から移転新築
- 5年(1930年) 創立10周年記念式
- 7年(1932年) 朝鮮・満州方面への修学旅行始まる
学徒勤労動員(干拓などに参加)
- 20年(1945年) 終戦 授業再開
- 23年(1948年) 県立虎姫高等学校設立
- 24年(1948年) 県立高等学校改編により、
県立湖北高等学校虎姫校舎に改編
- 26年(1951年) 県立高等学校再編により、県立虎姫高等学校設置
創立30周年記念式 運動場整地
- 32年(1957年) 虎高PTA通信創刊
- 36年(1961年) 南校舎竣工
- 41年(1966年) 新本館竣工(鉄筋三階建て)
- 45年(1970年) 創立50周年記念式典 50年史編纂
- 54年(1980年) 創立60周年記念式典 姉水会館兼生徒合宿所建設

平成

- 2年(1990年) 創立70周年記念式典 前庭整備
- 12年(2000年) 創立80周年記念式典 知徳館竣工
- 22年(2010年) 創立90周年記念式典
電子黒板設置・姉水会館補修
- 24年(2012年) 文部科学省スーパーサイエンスハイスクールに指定
- 31年(2019年) 国際バカロレア
ディプロマプログラム実施校として認定

令和

- 2年(2020年) 創立100周年
- 2年(2020年) 12月 国際バカロレアワールドスクール開校
- 3年(2021年) 100周年記念式典



旧制虎中時代の授業や部活の様子

サマーセミナーとは、大学で学問の最先端に触れ、高校の学びを実体験したり、探求的な活動をする事で、学問への興味関心や知見を広げ、進路意識を向上させるための活動です。今年、4大学に協力いただき、大学での学びを体験しました。



滋賀大学



滋賀大学データサイエンス学部と連携して、防災とデータサイエンスをテーマとした講座を実施しました。ドローンを使って姉川の地形を撮影し、そこからハザードマップにも活用できる地形データをつくっていきます。今年は天候に恵まれず、残念ながら姉川でのデータ採取はできませんでしたが、雨が止む隙

間を縫って、高校敷地内のデータを採取することができました。講師の畑山先生には、生徒から出た質問にも丁寧に答えていただき、防災とデータサイエンスについての理解がぐっと深まった2日間でした。

滋賀県立大学

文系



2年生文系生徒は7月28日(水)に滋賀県立大学にて実施されたサマーセミナーに参加し、虎高生のために開講していただいた4つの特別講座から、希望した2つの講義を受講しました。また、希望生徒を対象に、滋賀大学経済学部、金沢大学法学類とのZoomを用いたオンラインセミナーや、ミシガン州立大学連合日本センターからネイティブ講師を本校に招聘して行われた語学研修なども開講され、授業とはまた違った「学び」に触れることができました。

化学



サマーセミナーの1日目は、塩化鉄(II)と塩化鉄(III)から磁性流体を作成しました。ネオジム磁石で作成した磁性流体が集まってくる様子は、興味深いものでした。このような磁性ナノ粒子は、癌の部位に集積させ、高周波で発生する熱により温熱治療に利用できるそうです。2日目は、化学発光について学びました。ルミノール反応による青白く光る液体は魅力的で歓声があがりました。化学エネルギーと光エネルギーに互に変換されることを学びました。

生物



8月19日(木)・20日(金)の日程で実施し、7名の生徒が参加しました。1日目は環境科学部准教授入江俊一先生の指導で、GFPの遺伝子を大腸菌に導入し、光の大腸菌を作製する遺伝子組み換え実験を体験しました。2日目は本校の卒業生でもある環境科学部准教授細井祥子先生に指導を受け、県立大キャンパス内各所より採取した水から環境DNAを抽出し、PCR法を利用して増幅して、生息する生物種を同定するという、最新の生物分布調査を行いました。両日とも生徒達は熱心に取り組んでいました。

物理

主に熱機関についての講義を受けることができました。熱機関の中でもエンジンについて、燃料についての内容を扱っていただき、深く学ぶことができました。両日の講義終了後、それぞれ実験を行いました。1日目はスターリングエンジンの作成、2日目は廃食用油から燃料を作成し、実際に車を走らせることをしました。共に講義内容を実際に体験することができる貴重な経験となりました。

滋賀医科大学



8月19日(木)・20日(金)に滋賀医科大学サマーセミナーが行われ、1日目は全員で、2日目には医学コースと看護学コースに分かれて講義を受けました。コロナ対策の関係で例年行っている実習は行うことができませんでしたが、実際に大学でも使用されているレジュメを用いた

専門的な講義はもちろん、医師・看護師の使命ややりがいなどについてもお話を伺うことができ、将来医師や看護師を志す生徒たちにとって大変充実した2日間となりました。

慶應義塾大学

慶應義塾大学小林研究会と連携して、建築学と地域再生をテーマとしたサマーセミナーを実施しました。この講座では、毎年、地域の古民家を少しずつリノベーションしています。今年度は、囲炉裏を作るようになりました。大学生や留学生と小グループを組んで、囲炉裏のデザインから材料の加工、制作まですべて自分たちで進めました。完成した囲炉裏を全員で囲んだときには、感慨もひとしお。モノづくりの難しさと面白さを存分に経験した2日間でした。



1年生

活動報告



学年レクリエーション



2学期のロングホームルームで学年の独自企画として、10月20日(水)に実施しました。グラウンドで『しっぽ取り』、体育館で『ドッジボール』を行いました。各クラスのレク係が企画から仕切りまでをがっちりサポートしてくれました。長い2学期の中間地点でのほんの一時、またストレス発散として絶好の機会となりました。普段は学習に追われている生活の中において、良いストレス発散の機会となりました。両種目とも大いに盛り上がり、活気と笑顔にあふれた1コマとなりました。

リモートインタビュー



SDGsに関する社会問題についての調査活動(感染防止の観点から4~5名1グループでZOOMによるオンライン形式中心)を実施。課題の設定から相手方との交渉や取材、事後報告までの一連の活動を仲間とともに主体的、協働的に行うことで、実践的なコミュニケーション能力を高め、これからの時代を生き抜くための第一歩となりました。また、今の時代を生きる生徒だけに機器も使い慣れており、ある面たくましさも感じました。途中、若干、機器トラブルが発生したにもかかわらず、相手方の理解や配慮により、なんとかクリアすることができました。人とのつながりも含め、今回の経験は全てが貴重な経験となりました。

部活動紹介

春・夏の全国大会、近畿大会出場の部活動

全国最優秀賞受賞!

全国大会出場!

新聞部

良い循環の中で活動できる ～全国最優秀賞を受賞して～

2021年度、和歌山県で行われた全国高等学校総合文化祭で最優秀賞(5校)を受賞しました。最優秀賞は3年連続の受賞になります。この受賞を含め、新聞部はたくさんの人々に支えられて成り立っていると感じます。取材にご協力していただくなどもひとつです。しかしできあがった新聞を楽しんで読んでもらえる、それが新聞部の1番の支えです。「どうしたら楽しんでもらえるか」それを考えながら構成を考え、文章を打ち、こうじゃないと書き直し、全員で話し合い、より良い新聞を目指



し、完成させ、また作る。こうした"良い循環"の中で活動できるのも、みなさんのおかげです。自分たちのいる環境に感謝しつつこれからもより良い新聞を目指して頑張ります。

新聞部 部長 今井 陽南太(2年)



近畿大会出場!

アーチェリー部

個人 男子



2021年7月10、11日に和歌山県を会場に、第60回近畿高等学校アーチェリー選手権大会が開催され、本校から中川陽太君(3年2組)が出場しました。

近畿大会出場!

男子バレーボール部



会場の雰囲気は県予選とは全く異なり応援の迫力や相手チームのムードに圧倒されました。中でもエースが躍動してくれて兵庫県2位のチームにもある程度張り合うことができました。3年生の先輩と近畿大会に出場できたことはとてもいい経験になりましたし、思い出にもなりました。自分たちの代でも近畿大会に出場できるように日頃の練習から頑張りたいと思います。

近畿大会出場!

卓球部

男子団体、女子ダブルス



昨年の秋季総体で、初めて団体ベスト4に入り、今年の春季総体でもベスト4入りを果たし、近畿大会へ出場を決めました。近畿大会のシングルスではベスト32に入る活躍もあり、ダブルスと団体でもそれぞれ勝ち星をあげることができました。近畿大会でも勝てるチームになれたのは、試合を意識した練習をチーム全体で意識して取り組めたからだと思います。さらに上位のチームとも張り合えるよう、これからも部員全員で日々の練習に取り組めます。

近畿大会出場!

女子ソフトテニス部

団体



春季大会では、目標にしていた団体戦でベスト4という結果を残すことはできませんでしたが、ベスト8で近畿大会に出場することができました。近畿大会ではさらにレベルの高いチームと戦うこととなりますが、大会までの間に自分たちの足りないところを見つけて改善できるように練習し、近畿大会で自分たちのベストが出しきれるように、部員全員で協力し、切磋琢磨して頑張っていきたいです。そして、近畿大会後も秋季大会団体ベスト4を目標に頑張りたいです。

近畿大会出場!

陸上部

女子800m



800mで近畿大会に出場することができました。練習のときに動画を撮ってもらったり、先生方に聞いたりして、走り方を改善したからこそできたことだと思っています。また、友達とアドバイスを出し合いながら練習していました。この経験を通して、改めて身の周りの人に感謝をしたいと思います。皆さんも、友達と高め合いながら、怪我に気をつけて頑張ってください。応援しています。

綾部仁子(3年、写真右)

近畿大会出場!

水泳部

男子400m個人メドレー
男子4x200mフリーリレー
女子200m平泳ぎ



「歴代最強」、今年はこの目標を胸に大会に臨みました。その結果、選手権、新人大会ともに、リレーや個人で近畿大会に出場することができました。しかし、このような結果では満足せず、これからも「歴代最強」を目標に練習に取り組みます。現2年生は「全員、全国・近畿出場」を当初から目標にしています。決して簡単なことではないですが、日頃の鍛錬を怠ることなく、この目標を達成できるように水泳部一同全身全霊で努力していきます。

令和3年度

滋賀県高等学校秋季総合体育大会・滋賀県高等学校総合文化祭

結果

剣道部 男子団体 1回戦 0-5 守山 女子団体 1回戦 2-2 八日市(得本数で勝利) 準々決勝 0-5 草津東 ベスト8	アメリカンフットボール部 虎姫・八日市・長浜農業の 合同チームとして参加	男子バスケットボール部 1回戦 シード 2回戦 35-142 比叡山	陸上競技部 女子800m 5位岸田紗季 近畿大会出場 7位大谷心優、8位千田梨央 女子1500m 5位岸田紗季 女子4x400mR 7位(作本真里奈・千田梨央・ 小林千里・大谷心優)
野球部 1回戦 0-14 水口東	サッカー部 男子 2回戦 0-7 比叡山 女子 虎姫・国際情報・水口東・北大津・ 湖南農業・滋賀短大附属の合同チーム 2-2 近江兄弟社 0-12 八幡商業	女子バスケットボール部 1回戦 シード 2回戦 20-0 愛知 3回戦 93-31 東大津 4回戦 45-95 草津東 ベスト8	囲碁・将棋部 男子個人戦 ベスト8 藤井壮城 ベスト16 中嶋伊吹
アーチェリー部 男子団体 2位 2387点 石場勇汰・沢田琥珀・ 鳥居奨真・阿辻悠椰 男子個人 中川陽太 近畿大会出場	男子ソフトテニス部 団体戦 1回戦 2-1 八幡 2回戦 2-0 膳所 3回戦 1-2 瀬田工業 団体5位入賞(ベスト8)	男子バレーボール部 予選リーグ 2-0 守山 決勝トーナメント 1回戦 シード 2回戦 0-2 東大津	吹奏楽部 滋賀県高等学校総合文化祭出演
卓球部 男子団体 ベスト8 近畿大会出場 女子ダブルス 村方愛梨・高田理名組 ベスト16 男子ダブルス 畑澤香希・西濱賢吾組 9位 近畿大会出場	女子ソフトテニス部 団体戦 1回戦 3-0 比叡山 2回戦 2-0 水口高校 3回戦 2-0 八幡商業 決勝リーグ 1-2 甲西 0-3 長浜北 2-1 石山 団体3位入賞 近畿大会出場 個人戦 島田侑依・保科真琴ペア 4位入賞 近畿大会出場 中井美則・八木陽ペア ベスト16 近畿大会出場	女子バレーボール部 予選リーグ 2-1 高島 決勝トーナメント 1回戦 2-0 堅田 2回戦 0-2 滋賀短大附属	ESS部 滋賀県高校生 英語ディベート大会 3位 ベストディベーター賞 2位 吉川愛里花
水泳部 中村綾希 女子50m平泳ぎ 近畿大会出場 八田麻瑚 女子100m平泳ぎ 近畿大会出場 伏木透将 男子200m個人メドレー 近畿大会出場	女子ソフトテニス部 団体戦 1回戦 3-0 比叡山 2回戦 2-0 水口高校 3回戦 2-0 八幡商業 決勝リーグ 1-2 甲西 0-3 長浜北 2-1 石山 団体3位入賞 近畿大会出場 個人戦 島田侑依・保科真琴ペア 4位入賞 近畿大会出場 中井美則・八木陽ペア ベスト16 近畿大会出場	男子バドミントン部 1回戦 4-1 伊吹 2回戦 0-3 玉川	科学探究部 滋賀県高等学校総合文化祭にて発表
		女子バドミントン部 1回戦 5-0 安曇川 2回戦 2-3 能登川	新聞部 第45回滋賀県高等学校学校 新聞コンテスト優秀賞 教育長賞 2022全国総合文化祭出場決定 最優秀賞受賞 美術部 滋賀県高等学校総合文化祭参加



車いすバスケットボールとの出会いと東京パラリンピック

中学・高校と陸上部の中長距離ランナーをやっていました。校内の藤棚のところで休憩していたことをよく覚えています。

大学に進学後、憧れのサッカーを始めました。夢中になり、ちょうど日本女子サッカーリーグ「なでしこリーグ」ができたので、思い切って大学を休学、プロサッカー選手としてクラブチームに所属し、25歳までピッチを駆け回っていました。しかし、けがをしてサッカーを断念し、今度は選手をサポートする側になってパーソナルトレーナーの仕事を始めました。

そして、30歳の時に何の前触れもなく「褐色細胞腫」という病に襲われました。足に血液が流れなくなり、しょうがいを負って車いす生活を余儀なくされました…。病気になる前からパラスポーツはかっこい

いなど思っていたし、何かスポーツをやりたいと思い、出会ったのが車いすバスケットボール。今所属している「カクテル」という強いチームが近くにあり、また東京でパラリンピックが開催されることも決まっていたので、パラリンピック出場を目指してみようと思い、車いすバスケを始めました。

車いすバスケの魅力は、迫力や勝負事の醍醐味もありますが、いろんな人との出会いもたくさんあります。しょうがいも経歴も年齢も健常では考えられない幅広さがあります。

今後の目標としては、金メダルです。パリ大会のメンバーに入れるように頑張りたいですし、金メダルを取って皆さんにお見せできればいいと思います。

清水千浪選手 講演会

東京パラリンピック
車いす女子バスケットボール代表

本校第53回生で、
東京パラリンピック
車いすバスケットボール日本代表の
清水千浪選手が11月17日、
本校でご講演いただきました。
その講演内容を紹介します。



↑競技用いすを説明する清水選手



↑生徒も車いすバスケに挑戦



↑東京パラリンピック本番に向けて練習する清水選手

共生社会実現に大切なこと

57年前の東京大会と比べて、オリンピックもパラリンピックも参加国、参加選手が増えています。女性の競技人口が増えたことが推測されます。ジェンダーとか、しょうがい者とか、共生社会という考え方が浸透している結果の一つと考えることができます。

ダイバーシティ&インクルージョンとは、個々の違いを受け入れて認めて活かしていく社会です。私はしょうがいを持っていて、受け入れられていないなって思うことがあり、生きづらさを感じている人は今もいると思います。

私が大切だと思うのは、「違いを知ること」。東京パラリンピックの食堂は「小さな地球」と思われていました。車いす、義足、義手、巨人症、小人症…見た目が違う人がたくさんいます。でもみんな笑顔で挨拶してメダルを取るという一つの目標に向かっていました。

違いとか弱みとか、コンプレックスとかは誰にでもあります。話すことが苦手な人はその気持ちがわかるので、カウンセラーに向いていたり、走るのが遅い人は速くなるための過程を知ることができ、トレーナーに向いていたりします。コンプレックスを克服したい人は、がんばればいいし、克服しなくてもいつかそれが武器になるって思ってもらえたらいいと思います。

まずは、「考えるより行動すること」。積極的にチャレンジしてみてください。



↑質問したり、熱心に聴講する生徒



↑清水選手ありがとうございました

7/6 体育祭 sports festival



総合
 第1位 2年2組
 第2位 2年3組
 第3位 3年2組

クラスパフォーマンス
 第1位 3年3組
 第2位 3年1組
 3年2組

クラス対抗リレー
 第1位 2年2組
 第2位 3年1組
 第3位 3年5組

成長ムカデ 狩り人競争
 1年生 第1位 2組・3組
 2年生 第1位 2組
 第2位 3組
 3年生 第1位 2組・3組

3球入魂 玉入れ
 1年生 第1位 2組・3組
 2年生 第1位 2組
 第2位 3組
 3年生 第1位 2組・4組

気分は全員リレー
 1年生 第1位 4組
 第2位 1組
 2年生 第1位 3組
 第2位 2組
 3年生 第1位 3組
 第2位 4組

キング サイズバレー
 1年生 第1位 4組
 第2位 1組
 2年生 第1位 3組
 第2位 4組
 3年生 第1位 2組
 第2位 4組

虎高祭 「THIS MOMENT 虎性的なアイディアで駆け抜ける」



1年生
 ミュージックビデオ
 最優秀賞 2組
 優秀賞 3組

2年生
 クラス企画
 最優秀賞 5組
 優秀賞 3組

3年生
 ショートムービー
 最優秀賞 5組
 優秀賞 4組

7/7 文化祭 Cultural festival

Life condition survey results

生活実態調査結果

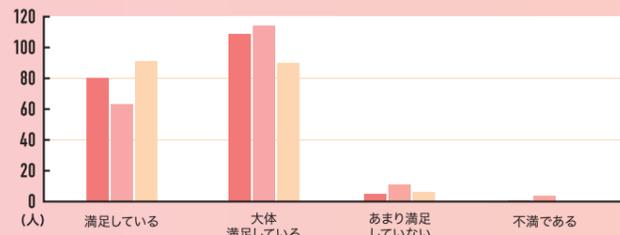
有効アンケート回答数

1年生	2年生	3年生	全体
195	192	187	574



高校生活について

Q.1 本校での生活に満足していますか。



Q.2 次にあげる、本校の教育活動や高校生活の中で最も期待するものは何ですか。

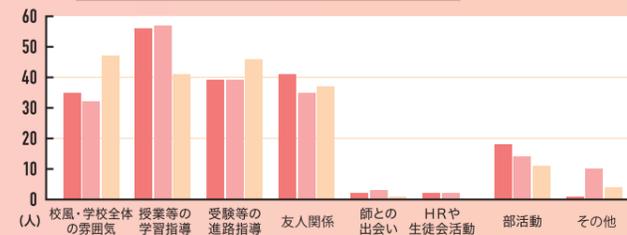
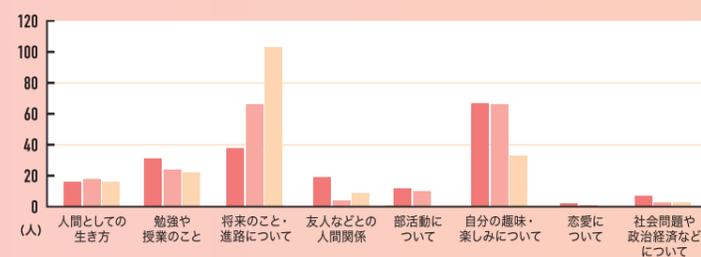
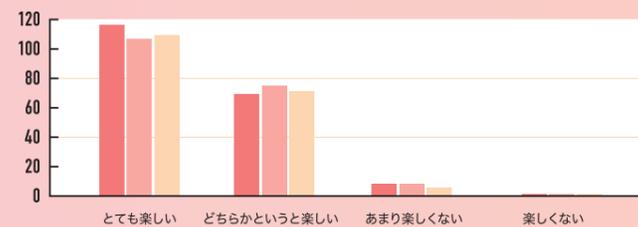


イラスト:2-5 里村旺輝くん(美術部)

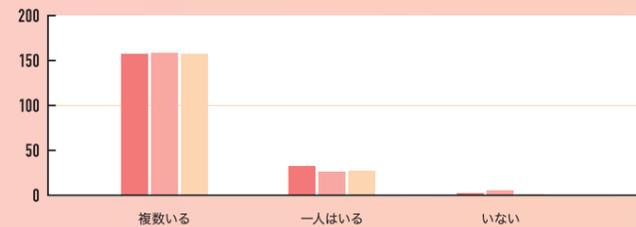
Q.3 次の中で、現在最も関心を抱いていることは何ですか。



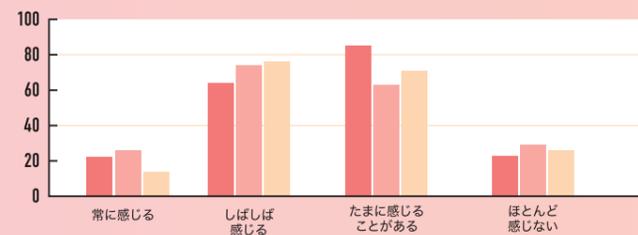
Q.4 自分の所属するクラスで楽しく過ごせていますか。



Q.5 喜びや悲しみを共有できる友人がいますか。



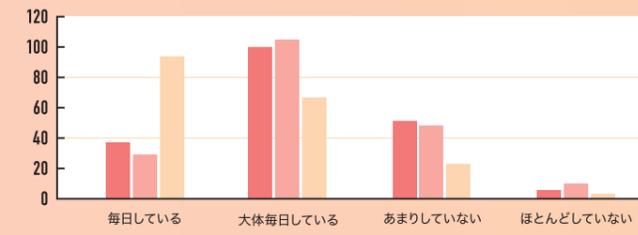
Q.6 携帯電話やスマートフォンに依存したり、束縛されたりしていると感じることがありますか。



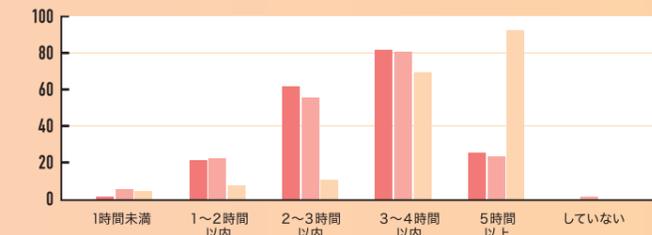
生徒全体を対象に日頃の生活についてのアンケートを実施しました。高校生活の意識や実態を調査し、今後の教育活動の改善に生かしていくことが目的です。その結果の一部を紹介します。

授業や学習について

Q.1 予習・復習・宿題・課題・テスト準備など、家庭での学習を行っていますか。(塾を含む)

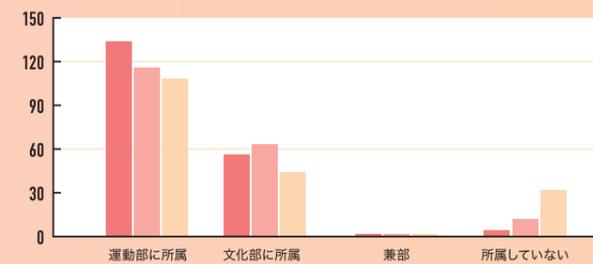


Q.2 定期テスト前の部活動中止期間の平日、平均的な家庭学習時間は、どれに当てはまりますか。



部活動について

Q.1 部活動に所属していますか。(していません)



Q.2 部活動に取り組む1番の意義は何ですか。

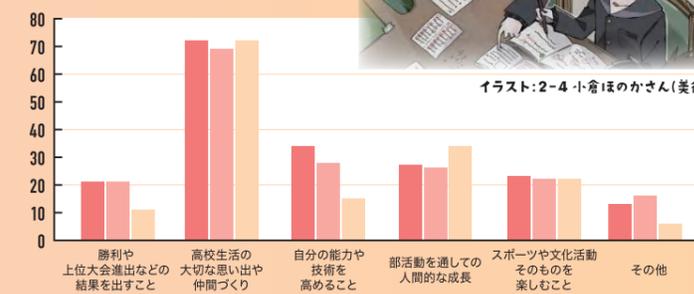
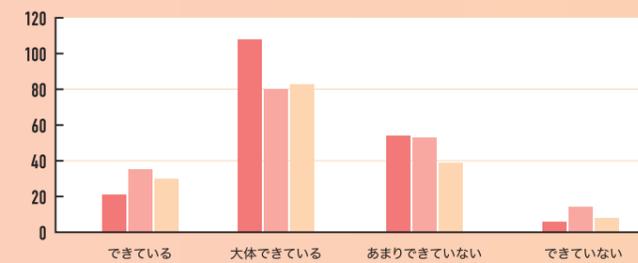


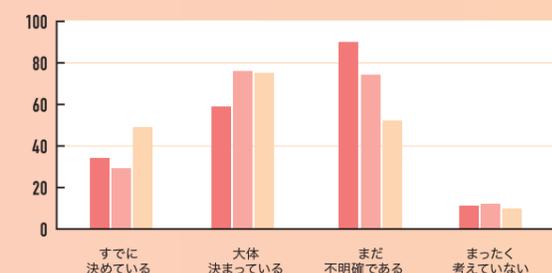
イラスト:2-4 小倉ほのかさん(美術部)

Q.3 部活動と勉強の両立ができていますか。

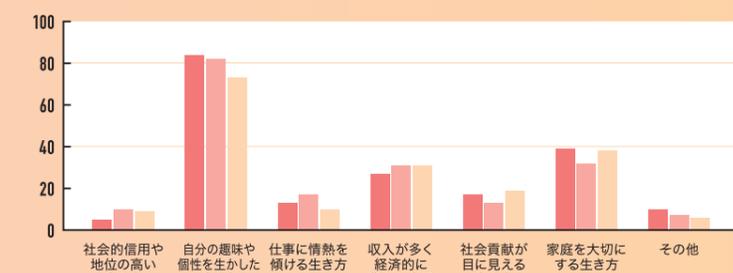


職業観・将来設計について

Q.1 自分の中で、将来就きたい職業が具体的に決まっていますか。



Q.2 将来どのような生き方をしてみたいと考えますか。



その他の設問

- Q.現在夢中になっていることがありますか。
- Q.本校の授業全般に関して、満足を感じていますか。
- Q.本校の授業全体の難易度について、どのように感じていますか。
- Q.学習塾や進学予備校に通っていますか。

- Q.あなたの所属している部活動は、充実していますか。
- Q.高校生活の意義をどのように考えていますか。
- Q.職業選択において、最も重要に考えることは何ですか。
- Q.虎姫高校生であることに誇りを感じていますか。

以上の設問の結果は、虎姫高校HPにて公表しております。右のQRコードよりご覧ください。



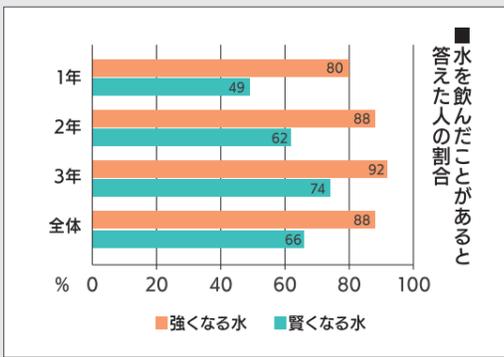
虎高新聞部コーナー

校内だけでなく、地域情報も発信し、校内外で活躍する虎高新聞部。今年度も全国高等学校総合文化祭で最優秀賞を受賞しました。
今回は、そんな新聞部が発行する虎高新聞の過去記事で人気記事を再度紹介します。
また、PTAが新聞部に対して質問してみました。

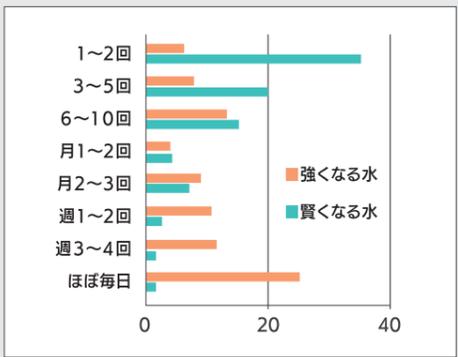
虎高新聞の過去の記事から
2016年10月17日発行 第147号
(復刊2号目)より抜粋
(一部修正)



強くなる水の利用率88%



水から始まる虎高生活



虎高高校には二つの湧き水「強くなる水」「賢くなる水」があり、本校の生徒はその水をよく利用し、馴染み深いものとなっている。創立80周年記念誌によると、「強くなる水」と呼ばれるようになったのは、この水を飲めば強くなるという言い伝えが運動部に広まったためであると記されている。「賢くなる水」はオオサンショウウオの精力か、虎姫の地の霊か、歴代の先輩たちの念力か理由はよくわからないがこの水を飲めば賢くなるという伝説を秘めた湧き水だと記されている。そこでこれらの利用率、味などの調査を行った。

調査の結果「強くなる水」の利用率が88%という結果になった。利用回数についてのアンケートでは「強くなる水」をほぼ毎日飲むという生徒が28%という結果になった。それに対して「賢くなる水」をほぼ毎日飲む



生徒は2割しかおらず、「強くなる水」の方が、利用率が高いことが分かった。

「強くなる水」は顔を洗ったり、飲み物を冷やしたりなど飲む以外にもさまざまな用途で使われている。「賢くなる水」に比べて水の量が多く、勢いも強いため利用しやすくなっているからだ。そのため体育の後などには「強くなる水」の周りには多くの生徒が集まる。

女子ソフトテニス部のみなさんは「お金がなくても水が飲めるし、水まきにも使えてコートにも近いのでよく利用しています」と話している。

おいしい水はどれ?



▲部活動を行う生徒やOBにも飲み比べてもらった。

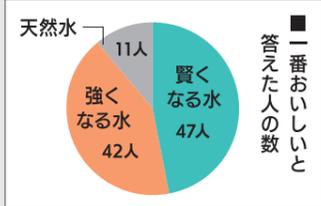


▲先生にも協力していただいた。

本校の先生方や生徒たちなど100人に「強くなる水」「賢くなる水」の3種類を飲み比べてもらった。飲み比べは、種類を伏せて飲み比べてもらい、おいしいと思う順を答えてもらった。

その結果「賢くなる水」が一番おいしいと感じた人は47人、「強くなる水」がおいしいと感じた人は42人、「市販の水」が一番おいしいと感じた人は11人で、市販の水よりも本校の湧き水の方がおいしいと感じた人が圧倒的に多いという結果になった。

▼飲み比べの結果(グラフ1)



「賢くなる水」が一番だった
100人に飲んでもらった

14度もの温度差が

飲み比べをするときに、できるだけ水温を同じにするために「強くなる水」と「賢くなる水」の温度を計測した。あわせて水道水の温度も計測した。

測定方法は流れている水をデジタル温度計で直接測定した。その結果「強くなる水」の温度は14.7度、「賢くなる水」の温度は

15.9度、水道の水の温度は29.4度だった。「強くなる水」の方がやや冷たかったが「賢くなる水」とほぼ同じ温度で、地下水と水道水とでは約14度という大きな差が生じた。測定日は8月8日で天候は晴れ、長浜市の最高気温は33.5度。



PTAから新聞部へ質問!

Q 新聞作りで大切にしていることは?
1ページ目を開いて読んでもらえる新聞を作ることです。そのためにできるだけたくさんの方の生徒や先生に登場してもらっています。

また、読みやすいように、写真やイラストを多く使い、カラーも見やすいように、フォントなどにも気を配っています。

Q 新聞作りで大変なことは?
当初の構想から作っているうちに内容もレイアウトもどんどん変わってきます。その変化に対応して作っていくことが大変です。95%までは出来上がっていますが、残りの5%の出来上がりにはかなりの労力と時間を費やします。追求すると終わりがなく、いまだに満足のない新聞が出来上がったことは一度もないです。

Q ネットはどのようにして仕入れる?
虎高内のニュースはみなさんから情報をもたらしたり、取材依頼してもらったりすることもあり、ありがたいです。

Q 毎大会で高い評価を得ているが、モチベーションはどのように保っている?
新聞部は他者の支えがないと成り立たないので(取材の協力やそもそも読んでもらうことなど)、他者の存在を考えるとどうしても最高の新聞を作ろうと努力する気持ちが高くなることはありません。「保つ」というイメージではないです。

生徒会 だより



生 徒会では、2年生のSDGs係と図書委員会のそれぞれとが連携をし、学園祭にあわせて「古着deワクチン」「チャリ本・プロジェクト」という2つのSDGsに関わる企画を行いました。「古着deワクチン」では、不要になった衣類やバッグ等を回収・送付し、開発途上国に住む子どもたちへのワクチン寄付を行いました。「チャリ本・プロジェクト」では、古本を回収・査定し、査定相当金額を国際的な教育支援を行う団体に寄付しました。保護者の皆様

は、古着や古本の回収の際に多大なご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

また、「チャリ本・プロジェクト」で値がつかなかった本を使い、「募金をすれば好きな本を好きなだけ持って帰れる」という決まりで、11月に校内で募金活動を実施し、募金額を東南アジアの貧しい国における学校建設を支援する団体に寄付しました。「虎高から世界へ貢献する」という思いを胸に、これからも活動してまいります。

奨励賞
受賞

虎高PTA通信が 近畿のコンクールで 奨励賞を受賞！

虎高PTA通信が令和2年度近畿地区高等学校PTA連合会広報紙コンクールにおいて奨励賞を受賞しました。今後もPTA会員の皆様に少しでもお役にてるような情報提供に心がけてまいります。



トラマンダーとカスミちゃん

編 集 後 記

今年度もコロナ禍が続いておりますが、延期されていた100周年記念式典が、生徒中心にデジタル活用など創意工夫により無事開催されました。式典の様子はオンラインで観ていましたが、生徒の企画・運営力のすばらしさに感動しました。特に、虎高の校訓である「質実剛健、方円自在、独立自尊」の言葉は、式典中何度も生徒らの口から発せられ、伝統が継承されていると改めて感じました。

さらに、虎高祭や修学旅行といった集団活動もできるように

なり、先生、生徒ともに工夫してコロナ禍に対応した新たな学校生活様式を実践されていると感じました。

しかしながら、PTA活動については、ほとんどできませんでしたが、そのなかで広報紙は予定通り2回発行できたということがせめてもの救いという思いです。次年度は、創意工夫したPTA活動ができるよう祈念しつつ次年度に引き継ぎたいと思います。

1年間どうもありがとうございました。

PTA広報委員会 一同